

帯のこ盤を起因物（小）とする死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	業種（小）	事故の型	労働者規模
2017	2	9~10	木材を切断している時、誤って左手の人差し指を切断中指を切った。木材を切断する帯鋸で、切断した。作業員Aが木材を出し作業員Bが木材を取るとい工程である。	23	30202	8	1 ~ 9
2017	2	16~17	当社工場内で製材の補助作業をしている時に木屑を取ろうと下を向いた時に、バックして来た送台車のヘッドに当たりそのまま反対の頭部を製材機にぶつけた。	47	10401	6	1 ~ 9
2017	3	9~10	工場内にて製材品の送材車テーブルでの作業中、製材品を移動するためのローラ（送り）に切りおとした廃材が引っかかり、取り除こうとした際にスイッチに手が触れ、ローラが下がり、右手を挟んだ。	74	10401	8	1 ~ 9
2017	3	9~10	社内作業場にて、鋳造後のアルミ鋳物を電動鋸（帯鋸）にて切断中、誤って手を滑らせ鋸の刃に右示指を接触し挫創した（軍手着用）。	48	11102	8	30 ~ 49
2017	3	8~9	常にチェーンや鋸などの機械に近づく時は、電源を止めるように指導しているが、工場内でツインリッパーを使おうと、電源を入れたまま、チェーンに引っ掛かったチップ材を取ろうとして、手袋を挟まれて負傷した。	34	10409	7	10 ~ 29
2017	3	8~9	製材機の所で原木を製材中、原木がずれないように右手で押さえて切っている時、通常は鋸手前20cmの所で手をどけるところ、鋸まで手を持っていってしまい右手親指を負傷した。	69	10401	8	30 ~ 49

2017	3	9~10	木材を製材する為、製材機（木棺）を向こう側に立たせ、製材品を受け取る作業をさせていたところ、ローラーと製品の角で指をはさまれ負傷した。	29	10401	7	1 ~ 9
2017	5	13~14	工場内のバンドソー機で木板（ゴム集成材、3200×135×25）を1人で加工（中カット）中に、途中で木板が入って行かなくなり、とっさに右手で板を押そうとし、誤って刃に接触し負傷した。	33	10401	8	1 ~ 9
2017	7	11~12	製材工場のローラーテーブル式帯のこ盤で木材を製品に加工する作業中、仕切り板に端材が引っかかり、その端材を取ろうとして左手人差し指が刃に触れ負傷した。	63	10401	8	10 ~ 29
2017	7	10~11	工場内の鋸盤で鋼材を切断し、鋸盤の電源を切り、切った鋼材を取ろうとした際、余力で動いていた切断刃に右手に着用していた手袋が引っ掛かり、右手親指を巻き込んで負傷した。	22	11209	7	1 ~ 9
2017	7	9~10	資材工場で先取り作業中、台車が後方へ戻るときに、台車のヘッドブロックが本人の左手甲に当たり負傷した。	77	10409	6	1 ~ 9
2017	7	8~9	工場内で製材加工中、製材機で原木を曳いているとき、製材機に溜まった木屑を取るため、鋸に手を近づけたところ、左手小指付近を鋸で切傷した。	68	10509	8	1 ~ 9
2017	7	13~14	丸太を割り板にするため、作業台の上で作業をしていたところ、作業台の反対側に木くずが詰まってきたので処理しようと移動した際、足が滑り前のめりに転倒し、右足付け根部を打撲した。転倒後、痛みはあったが作業に従事していたところ、後日、右足が上がらなくなった。	38	10401	2	1 ~ 9
2017	9	14~15	工場内にて、丸太を製材機にて切断作業中、機械のローラーに丸太の皮が引っ掛かっていた為、取ろうとして誤って指を巻き込んでしまった。	65	10401	7	—
		16~	横バンドソーでカバーを外しチェーンに油を差していた、チェーンに				10

2017	9	17	杉皮片が付いて回っていた、それが気になり指でつまみ取ろうとして、チェーンとギアの間に指先を挟んだ。	33	10401	7	～ 29
2017	10	9～ 10	製材工場内でオートテーブル（製材機）作業中、機械に異常があったので確認のため、製材機の製品台に上がり異常を直そうとした時、つまずき転び背中を打ってけがをした。	62	10401	2	1 ～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html